

Abies

2026.02.27

翠 椋 会

宮城県泉館山高等学校同窓会 |





庄田 圭佑

宮城県泉館山高等学校同窓会 会長
17回生

同窓会長あいさつ

皆さまには常日頃より宮城県泉館山高等学校同窓会へのご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。同窓会は会員の皆さまひとりひとりの想いと支えによって活動が成り立っており、学校・現役生との連携を深めながら豊かな交流の場を創出できていることを大変嬉しく感じております。

現役生の活躍も非常に目覚ましく、放送コンテストや各種大会での受賞、そして地域との連携活動など、幅広いフィールドで力を発揮している姿が日々の更新でも紹介されています。「生徒一人ひとりの夢の実現」を掲げる母校の教育理念のもと、仲間と切磋琢磨する姿は私たち卒業生の誇りです。

令和7年度は同窓会創立40周年の節目の年として、総会・懇親会の開催し、多くの皆さまにご参加いただき、世代を超

えた絆がさらに強まったことを嬉しく思います。また、毎年恒例となっております文化祭への出店、40周年記念事業としての紅白幕やテントの寄付など、例年にも増して多彩な取り組みを進めてまいりました。これもひとえに、これまでの会員の皆さまのご支援の賜物と感謝申し上げます。

引き続き同窓会は、在校生の可能性を広げる支援の充実、卒業生同士の交流機会の創出を進めてまいります。若い世代の斬新な発想と情熱を取り入れつつ、未来につながる同窓会づくりを共に歩んでいきたいと思っております。

最後に、今後の同窓会のさらなる発展に向けて皆さまの変わらぬご支援とご参加をお願いいたし、会長挨拶といたします。



小出 琉葵

宮城県泉館山高等学校 41回生
生徒会長

2026年が始まり、一人一人が新たな気持ちと共に活動し始めていると思います。創立43周年を迎えた泉館山高校は、今年も総勢708名の生徒と共に、大きな発展を遂げていくでしょう。

私の高校生活を振り返ると、それはあっという間に過ぎ去っていく一本の矢のようなものでした。私達が入学した年はちょうどコロナウイルスの規制が緩和され始めた年であり、従来の泉館山の校内外の活動が、より活発に行われました。右も左も分からない私達にとって、充実した学校生活は大きなモチベーションとなりました。ですが私が大切にしたいと思ったのは、これで満足することなくこれからは自分たちがもっと泉館山を発展させていくんだという気持ちを持ち続けることでした。その上で生徒を主体としてどのように発展させていくかを生徒会で何度も話し合いを重ねてきました。2年生の修学旅行では、最高の仲間と新たな発見を重ね、壮大な景色や歴史に触れてきました。3年生の三校定期戦では、コロナ禍の影響により近年実施できていなかったバレードを再開することができ、泉三校の活発な姿が互いに発揮され、全

体の士気も大きく上がっていました。そして今年度、泉館山は三校定期戦で9連覇という大きな功績を紡ぐことができました。来年度はぜひ10連覇を達成して欲しいと思います。他にも三重大行事として知られる球技大会、翠樞祭、体育祭などを通して仲間との最高の思い出を作ることができました。私達がここまで充実した学校生活を送れたのも、共に歩んできた仲間、そして様々な面でサポートしてくださった先生方、そして陰ながら行事運営や設備支援を通して私たちの学校生活を支えてくださった同窓会の皆様が存在があってこそです。感謝をしてもしきれないほどです。本当にありがとうございました。

これからの泉館山高校は、生徒同士で高め合いきつと今まで以上に発展していくことと思います。後輩のみんなには、たとえ問題に直面しても、矢のように真っ直ぐ突き進み一つ一つの的を撃ち抜いて欲しいと思います。これから入会させていただく同窓会における私達の活動が、その支えになれるのであれば、この上ない幸せです。



高瀬 琢弥

宮城県泉館山高等学校 校長

校長あいさつ

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

創立20周年記念事業として平成16年に完成した翠樅会館は、新型コロナウイルス感染症により制限を受けた期間を除いて、課外講習や合宿、各種研修会をはじめ、近年では猛暑のため一部授業でも使用しております。また、今年度は台湾国立竹東高級中学生約40名と生徒間交流事業を実施し、国際的な視野を醸成する場としても活用させていただきました。

創立40周年記念事業で令和5年度末整備完了となった中庭やロータリーは、清掃美化委員による植栽や管理のもと、色とりどりの花が咲き誇る憩いの場となっております。また、翠樅祭（文化祭）や年末イルミネーションイベントの会場として、きらびやかに生徒によって装飾され、青春の一場面を彩る素晴らしい場所となりました。さらに今年度、同窓会の皆様のおかげで、年末年始の2回、たき火を囲んで先輩方と交流する機会をいただき、ロータリー前は参加した百名超の在校生で活気あふれる場となりました。

そのほかにも、創立40周年記念事業として作成いただいたティム君のイラスト入りマフラータオルを、台湾(7名)やドイツ(1名)から来校した校長先生方に交流の証としてお渡しさせていただくなど、同窓会の皆様への感謝はつきません。

さて、今年度は、本校の教育目標である大志2030「地域社会や国際社会の創造に貢献できる人材育成」のため、様々な教育事業を展開してまいりました。国際交流に関しては、前述のとおり台湾の高校生と交流を行い、防災等の社会課題に関して英語で議論した後、仙台市内の観光ガイドを行いました。別れ際、涙ぐむ両国の生徒たちの姿が見られました。地域交流に関しては、館高防災ジュニアリーダーが大学や近隣小中学校、地域住民

と連携し、地域防災力の向上に尽力しました。また、近隣小学生を対象に館高生が主体的にドローンプログラミング教室を開催するなど、地域の早期理数科教育にも貢献しました。

社会課題の解決を目指す探究学習においては、サイエンスデイ（県の探究学習発表会）において、文部科学大臣賞をはじめ数多くの賞を受賞し、県理科研究発表会物理部門では2位になるなど多くの館高生が校外の発表会で成果をあげるとともに、地域課題について県議会議員と意見交換会を実施し、提言等も行いました。

部活動においては、泉三校定期戦において、9連覇を達成しました。県高校総体では、剣道部が東北大会出場、弓道部が団体4位となりました。テニス部は全日本ジュニアテニス選手権大会に出場、放送部・囲碁将棋部・写真部は全国高等学校総合文化祭に出場、特に放送部はNHK杯全国放送コンテストにも出場、家庭部はスイーツ甲子園福島チャレンジカップ決勝(ベスト3)に進出しました。また、吹奏楽部は東北吹奏楽コンクールで金賞を受賞しました。このように、館高生の活躍は多岐にわたり枚挙のいとまがありません。

創設以来の「自律」「敬愛」「貢献」の校訓のもと、諸先輩方が築いてこられた伝統や学校文化を基盤としつつ、予測困難で変化の激しい時代においても、生徒一人ひとりが校木「樅」のごとく強くしなやかに生きる力として、「館高力」をしっかりと身に付けることができるよう、教職員一同力を尽くしてまいりますので、今後も引き続き御支援、御協力のほど、よろしくお願いいたします。



自分らしさを解放できた 館高というホーム

学生時代の市川さんはチアやソフト部・体育祭の実行委員にバンド活動と多彩に活動。山形大学理学部へ進学後、就職は生命保険会社の営業。その後上京、現在は大手広告代理店の課長として活躍されている市川さんの原点である高校時代について聞きました。



市川莉依菜さん 27回生

山形大学理学部卒業後、保険会社就職後上京、WEBマーケティング業界へ転職後キャリアアップを重ね現在課長職(株)マイナビコンテンツメディア事業部

高校で駆け抜けた日々が、キャリアの礎

懐かしい母校の図書室で卒業アルバムを広げ、笑顔を見せるのは27回生の市川莉依菜さんです。現在は広告代理店で課長として活躍する彼女。そのキャリアの原点は、まさにこの泉館山高校での日々がありました。

生徒会誌の中の市川さんは、クラスページに記された通り、まさに「元気の代名詞」。理系の純粋理系クラスに所属し、厳しい練習で知られるソフトボール部で白球を追いかける一方、文化祭ではバンドのボーカルを務め、体育祭では副実行委員長として自らマイクを奪って実況を行うなど、八面六臂の活躍を見せました。「高校時代にやっていた企画や盛り上げ役としての経験が、今の広告プランニングの仕事に全部つながっているんです」と市川さんは語ります。



毎日見ていたソフトボール場から望む校舎



理系クラスの窓から見ていた景色

仲間たちが育んでくれた、私という個性

そうした活動的な一面を解放できた背景には、学校特有の環境がありました。「中学までは苦勞することもありましたが、高校に入ると力や考え方が近い子が多くて。私がやりたいことをやっても、みんなが『笑って許してくれた』んです」。クラスTシャツのデザインにこだわりすぎて予算をオーバーし、担任の林先生が保護者に手紙を書く事態になったという「やんちゃ」なエピソードも、今では個性を象徴する良い思い出です。

震災や家庭の事情など多感な時期を過ごしましたが、先生や仲間はずっと自然体で受け入れてくれました。「高校時代に、人としての『型』が出来上がった気がします」。自分が前に出て楽しむことを肯定してくれる仲間と、それを見守る先生たち。泉館山という自由で温かな土壌が、社会で輝く市川さんの個性をのびのびと育んだのです。

情報分析のプロから 歴史を紐解く作家へしました

公安調査庁の分析官として霞が関の中枢で活躍後、震災を機に帰郷。現在は介護タクシー会社代表の傍ら前職で培った調査力を武器に歴史小説家としてもデビュー「使命」を追い求めた半生を聞きました。



伊藤 真康さん 7回生

震災を機に国家公務員を辞め故郷で介護タクシー事業を起業・経営の傍ら作家として小説を執筆「縁 或る武家の物語—仙台藩・無名武士の二百八十年」が出版される。

霞が関で鍛えた「眼」で真実を紡ぐ

7回生の伊藤真康さんの歩みは、まさに波乱に満ちた物語のようです。就職氷河期を経て、28歳で公安調査庁に入庁。霞が関の本庁で総理大臣官邸に届ける情報の分析に携わり、「曖昧な情報は一切許されない」という過酷な環境で、徹底した事実確認と論理的思考を叩き込まれました。

転機は2011年の東日本大震災でした。故郷の惨状を目の当たりにし、「安定を捨ててでも故郷のために尽くしたい」と決意。2016年に仙台で介護タクシー会社を起業しますが、コロナ禍や経営難、自身の体調不良といった「どん底」も経験されました。その苦境の中で見出した新たな道が、作家としての活動です。



伊藤さんが運行している福祉タクシー

「縁 或る武家の物語」
幻冬舎から発売中！



デビュー作『縁 或る武家のものがたり』では、元情報分析官としてのスキルを遺憾なく発揮。古い資料や戸籍の行間から、名もなき下級武士たちの情熱や悲しみを緻密に読み解きました。「資料が集まるとドラマが透けて見える」と語る伊藤さんは、現在も仙台出身の「栄光なき天才発明家」の物語を執筆中です。



下級武士として伊達政宗に仕官した伊藤三右衛門家。陰ながら主君を支えた伊藤家はどうのように知行地を拡大させ、繁栄の道を行っていったのか。八世代にわたる二百八十年の軌跡を、史実をもとに描いた歴史小説。

幻冬舎メディアコンサルティング

「使命」の先に見つけた幸せの着地点

かつては「大きな使命の達成」こそが幸せだと信じていた伊藤さんですが、現在は後輩たちへ温かなメッセージを送っています。「鳥はずっと飛び続けることはできない。必ず休むための『着地点』が必要だ」高く飛ぶことだけでなく、家族や友人との暮らし、失敗しても帰れる場所を持つことも大切な幸せの形である——。ペンを手に、故郷の歴史に光を当てる伊藤さんの挑戦は、これからも続いています。

TOPIC
03

今年も同窓会総会・懇親会を開催しました。



令和7年度の総会を8月10日(日)パレス平安において、1回生から35回生までと非常に幅広い約70名の同窓生が参加し開催されました。昨年度実施した同窓会活動に係る学校への寄附や各種行事への協賛についての決算報告や一昨年度から制度化した褒賞制度の実績等の報告がなされました。総会後の懇親会もコロナ以前のようにぎやかな会となりました。



懇親会には、開校当時に勤務していた渡部先生が今年も元気なお姿を見せてくれました。

なお、今年8年度の同窓会総会は8月11日(火・祝)15時からスマイルホテル仙台区分町で開催予定です。右記の二次元コードから参加申し込み下さい。

TOPIC
04

同窓会として翠樅祭に出店しました。



令和7年8月29日・30日の両日開催された翠樅祭に、今年度も同窓会として出店いたしました。昨年に引き続き、「冷やしやき芋」及び「泉館山高校限定オリジナルマフラータオル」の販売を行いました。

「冷やしやき芋」は今年も完売となり、「泉館山高校限定オリジナルマフラータオル」も好評で相当な売れ行きでした。

今後も同窓会として翠樅祭を盛り上げるための一翼を担うべく模擬店の出店に引き続き取り組んで参ります。

TOPIC
05

学校のたき火場を開催しました。



令和7年12月16日(火)および令和8年1月13日(火)いずれも火のつく火曜日に放課後の昇降口前ロータリーで同窓会主催の「学校のたき火場」を開催しました。

同窓生と現役生の交流の場としてたき火を囲む場をつくりマシュマロを焼いて楽しんだり、火を囲みながら学校生活や将来の進路に関する対話をおこないました。二日間で延べ100名ほどの生徒さんが参加し大好評でした。

同窓会として在学中の後輩との交流の場として、今後も定期的実施できるよう取り組んで参ります。

TOPIC
06

令和7年度
部活動の主な戦績



- 運動部 第40回泉三校定期戦 総合優勝(9連覇)
テニス部 全国大会出場
剣道部 東北大会出場
- 文化部 総合科学部 全国大会入賞
写真部 全国大会出場 家庭部 全国大会出場
囲碁将棋部 全国大会出場 放送部 全国大会出場
吹奏楽部 東北大会出場

TOPIC
07

剣道部が東北大会へ出場



剣道部3年福島花笠さんが、令和7年6月に行われた宮城県高校総体にて、女子個人戦でベスト8に入り、東北選手権大会に出場しました。東北選手権大会では、惜しくも初戦敗退となりましたが、青森県の全国大会強豪校の選手を相手に、粘り強く力の限り戦いました。

限られた活動時間の中で、運動部の生徒も日々の練習に励み、各種大会で活躍しています。

TOPIC
08

吹奏楽部 東北大会金賞受賞



令和7年8月に開催された第68回宮城県吹奏楽コンクールにおいて、泉館山高校吹奏楽部が金賞を受賞し、今年も東北大会に進みました。

東北大会は福島県郡山市で行われました。自由曲「スペイン狂詩曲」の演奏では、スペインの伝統舞曲を想像させる妖しい美しさや、祭りの風景のにぎやかさを色彩感豊かに表現し、見事金賞を受賞しました。

写真は5月に開催された第37回定期演奏会の写真です。

TOPIC
09

芋煮会を今年も開催しました。



今年度も同窓会主催で令和7年10月12日(土)に芋煮会を開催しました。会場は例年開催している七北田公園の河原で時折小雨の降るあいにくの天気でしたが、無事開催することができました。同窓会役員を中心に少人数の開催でしたが、ご家族を連れて参加される方や、東京からお越しただい同窓生の方もいらっしゃるなど、同窓生が集まれる恒例行事として、少しずつ参加人数も増えてきております。今後も10月の第二土曜日を開催日として継続的に実施してまいりますので、是非ご参加ください。

生まれた年度と卒業年次によって何回生かがわかる早見表です。卒業当時の校長先生、各クラスの担任の先生方のお名前も併記しております。懐かしい恩師にお会いになりたいという方は是非、同窓会役員へご連絡ください。現在の勤務校等、同窓会で把握している範囲で情報提供可能です。

回生	生まれた年度	卒業年	在職校長	卒業年次 組担任										
				1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組		
1	1967	S42	1986	S61	加藤 暢郎	吉光 章喜	佐藤 典部	伊藤 峰視	浅沼 一夫	関 訂	梁川 武治	千葉 元信	渡辺 忠明	
2	1968	S43	1987	S62	加藤 暢郎	佐藤 典部	齋藤 光次	渡部 孝	武林 恵子	浅沼 一夫	澤村 茂	狩野 宗憲	早川 克文	
3	1969	S44	1988	S63	加藤 暢郎	渡部 孝	菊池 由和	鈴木 秀夫	熊谷 桂二	木村 淳	福田 誠	山下 雅範	奥山 雅敏	
4	1970	S45	1989	H1	湯本 眞哉	小野寺 宏	吉光 章喜	一條 忠美	堀川 和義	狩野 宗憲	櫻井 宏一	武林 恵子	千田 孝彦	
5	1971	S46	1990	H2	湯本 眞哉	佐藤 典部	青山 純	渡部 孝	太田 健治	河野 博子	浅沼 一夫	斎藤 安正	澤村 茂	
6	1972	S47	1991	H3	湯本 眞哉	佐藤 典部	伊藤 峰視	和泉 安信	粕谷 淳子	熊谷 桂二	木村 淳	菊池 由和	福田 誠	
7	1973	S48	1992	H4	湯本 眞哉	狩野 宗憲	菊池 豊	澤村 茂	渡部 孝	小野寺 宏	遠藤 宣廣	堀川 和義	櫻井 宏一	井口 雅夫
8	1974	S49	1993	H5	沼田 啓充	浅沼 一夫	青山 純	一條 忠美	斎藤 安正	谷藤 正樹	河野 博子 (狩野 宗憲)	山下 雅範	太田 健治	
9	1975	S50	1994	H6	沼田 啓充	渡部 孝	菊池 由和	大宮 和子	秋元 一郎	熊谷 桂二	千田 孝彦	阿久津三枝子	鎌田 幹夫	
10	1976	S51	1995	H7	沼田 啓充	阿部 翼	菊池 豊	佐伯 聖一	菅原 一比古	武林 恵子	小野 泰治郎	堀川 和義	小野寺 宏	井口 雅夫
11	1977	S52	1996	H8	菅野 政夫	梅田 茂	玉井 秀明	斎藤 文弘	志村 和治	上西 亮子	渡部 孝	狩野 宗憲	大谷 豪生	
12	1978	S53	1997	H9	菅野 政夫	青山 純	一條 忠美	玉井 秀明	熊谷 桂二	鎌田 幹夫	菅原 一比古	菊池 潤	樽野 幸義	
13	1979	S54	1998	H10	菅野 政夫	佐藤 春作	菅原 久夫	大橋 由紀子	高瀬 琢弥	町田 尚彦	笠原 哲雄	芳賀 誠	谷藤 正樹	
14	1980	S55	1999	H11	遠藤 宗雄	加藤 徳善	飛鳥 貴	斎藤 文弘	伊藤 浩	小野寺 雄一	樽野 幸義	三浦 全部	遠藤 厚志	
15	1981	S56	2000	H12	遠藤 宗雄	栗原 康治	菅原 実	奥山 恭子	高橋 隆一	半田 千里	樽野 幸義	金澤 潤	末木 正信	
16	1982	S57	2001	H13	岡崎 忠	北爪 郁子	青山 勝	町田 尚彦	堀籠 亮一	佐藤 春治	菅原 久夫	玉井 秀明	大橋 由紀子	
17	1983	S58	2002	H14	岡崎 忠	飛鳥 貴	齋藤 孝志	小野 均	梅森 修二	半田 千里	伊藤 浩	伊藤 博之	川村 恵理子	奥山 恭子
18	1984	S59	2003	H15	花井 弘美	渡部 知子	青山 勝	加藤 徳善	佐藤 浩志	金澤 潤	細倉 浩	木村 篤史	島山 晶子	浅野 行廣
19	1985	S60	2004	H16	花井 弘美	岩淵 伸夫	渡部 知子	山本 肇	佐藤 光二	小野 善広	堀籠 亮一	宇都宮 満	北爪 郁子	
20	1986	S61	2005	H17	花井 弘美	佐々木 智子	菅原 謙一	富岡 久喜	川村 恵理子	黒澤 弘	奥山 恭子	宇都宮 満	小野 勝	
21	1987	S62	2006	H18	花井 弘美	神保 義信	村松 昌子	桂島 猛	飛鳥 貴	手代木 章宏	秋山 直樹	青山 勝	菅原 淳	
22	1988	S63	2007	H19	高津 律子	佐藤 春治	佐藤 浩志	鶴岡 丈彦	佐竹 潤一	岩館 裕章	青柳 啓介	雪江 美穂	庄司 清彦	
23	1989	H1	2008	H20	高津 律子	菅原 謙一	奥山 恭子	池田 秀樹	木村 剛	木村 篤史	宇都宮 満	鈴木 秀利	富岡 久喜	
24	1990	H2	2009	H21	高津 律子	高橋 由紀	上杉 茂樹	青柳 啓介	村松 昌子	村上 悟	高永 明	愛澤 英治	黒澤 弘	
25	1991	H3	2010	H22	佐藤 富夫	池田 秀樹	針生 智之	横山 信司	菅 修一郎	岩館 裕章	鶴岡 丈彦	庄司 清彦	千葉 薫充	
26	1992	H4	2011	H23	佐藤 富夫	小野寺 章	菅原 謙一	木村 剛	大場 緑	桂島 敦	斎藤 秀美	松本 尚樹	鶴岡 丈彦	
27	1993	H5	2012	H24	小笠原 朋之	林 宣子	木村 敬二	田中 由紀	青柳 啓介	横山 佳司	高永 明	村上 悟	沼田 秀樹	
28	1994	H6	2013	H25	小笠原 朋之	藤崎 統康	森谷 浩明	針生 智之	池田 秀樹	小山 裕之	西澤 崇	高橋 文	天川 葉子	
29	1995	H7	2014	H26	小笠原 朋之	梅村 聖一	木村 剛	茂野 真喜子	秋山 和士	小山 裕之	水上 智子	浅沼 謙一	小野寺 章	
30	1996	H8	2015	H27	松本文弘	西澤 崇	二階堂 秀輝	松本 尚樹	横山 佳司	長谷川 拓美	阿部 人志明	扇谷 健	林 宣子	
31	1997	H9	2016	H28	澤田 可知	渡邊 朗	千葉 祥	川村 晃史	大内 千枝	水上 智子	平野 茂	佐藤 和之	池田 秀樹	
32	1998	H10	2017	H29	澤田 可知	茂野 真喜子	森谷 浩明	水上 智子	菅原 謙一	川上 秀一	佐藤 英人	小野寺 章		
33	1999	H11	2018	H30	澤田 可知	大森 靖恵	長谷川 拓美	池田 秀樹	三浦 誠吾	北川 武	三浦 美奈子	西澤 崇		
34	2000	H12	2019	H31	武田 元彦	近藤 純	大森 貴文	村上 健一	川崎 伸二	高永 明	山口 昌己	小齋 勝史		
35	2001	H13	2020	R2	武田 元彦	三瓶 吉人	北條 大輔	川崎 伸二	宮崎 寿美枝	勝亦 浩之	赤坂 聡子	水上 智子		
36	2002	H14	2021	R3	武田 元彦	山内 佳子	坂本 陽子	扇谷 健	今野 享	佐々木 弘明	三浦 美奈子	山口 昌己		
37	2003	H15	2022	R4	益谷 貴彦	大森 貴文	新井田 将光	長谷川 拓美	千葉 雅裕	早川 潤	大森 靖恵	狩野 わか子		
38	2004	H16	2023	R5	益谷 貴彦	三瓶 吉人	宮崎 寿美枝	小針 聡美	赤坂 聡子	登坂 如恵	佐々木 弘明			
39	2005	H17	2024	R6	櫻井 知大	大塚 大	滝ヶ平 拓	泉 洋祐	今野 享	三浦 美奈子	亀山 瑠依			
40	2006	H18	2025	R7	櫻井 知大	坂本 陽子	深田 祐馬	新井田 将光	大友 正治	大森 靖恵	高橋 洋			
41	2007	H17	2026	R8	高瀬 琢弥	宮崎 寿美枝	大友 博世	赤坂 聡子	大高 貴代	木村 智則	登坂 如恵			

宮城県泉館山高等学校同窓会

〒981-3211 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘東1 宮城県泉館山高等学校内
Tel. 022-378-0975
Facebook
<http://www.facebook.com/groups/215259171873714/>

最新情報、総会・懇親会の申し込み、
および住所変更等のご連絡はこちらから
<http://www.izumitateyama.jp/>

